

平成25年度 第2回

地域包括支援分科会

## 資料 2

議事 (2)

北九州市医療・介護ひまわりネットワーク推進事業について (報告)

# 北九州市医療・介護ひまわりネットワーク推進事業について

- ICTを利用した多職種による  
情報共有の仕組みづくりについて

北九州市保健福祉局保健医療課

## 在宅医療の環境づくりを進める上での課題について

- 北九州市医師会等と意見交換を行ったところ、在宅医療の環境づくりを進める上では、以下のような課題があることが明らかになった。

### ①在宅医療と介護の連携体制の構築

- 本市の調査(「医療と介護の連携に関する調査報告」)では、病院や診療所は、ケアマネジャーから聞きたい情報として、「在宅での生活状況」を求めている。
- 特に、患者の病状急変時や、災害等の発生による緊急時の対応にあたっては、関係者間でタイムリーに情報を共有し、迅速かつ適切な判断と処置を行う必要があるが、緊急時には個々が連絡を取り合っており対応している。
- 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー、医療ソーシャルワーカー、ヘルパーなど、患者の療養生活を支援する医療・介護の関係者が、患者の医療情報や介護情報、生活状況等をタイムリーに情報共有することで、患者の急変時や災害発生時にも適切に対応できる仕組みづくりを構築することが必要である。

### ②病院と在宅医療提供機関との連携体制の構築

- 急性期病院の医師や看護師に、退院した患者が、自宅でどのような在宅医療サービスを受けながら療養生活を送っているのかを知ってもらうなど、在宅医療の理解を深めてもらう取り組みを進めていく必要がある。
- 糖尿病等の慢性疾患や複数の疾患を併せ持った在宅療養患者が増加してくることが見込まれる。このため、かかりつけ医が自らの標榜科に関わらず、適切に初期治療を行うことができる体制を構築する必要がある。
- 廃用性症候群の予防や最期までその人らしい生活を支援するため、必要に応じてリハビリテーションスタッフが早期かつスムーズに介入できる連携体制の構築も必要である。

### ③在宅医療関係者の人材育成、市民への普及啓発等

- 既存のネットワークと連携した多職種による事例検討会の開催や、北九州市総合療育センターとの連携による小児在宅医療従事者の人材育成のための研修会の開催等を行う必要がある。
- 市医師会と連携し、市民に身近な地域の市民センター等で、在宅医療に関する普及啓発講演会を開催し、終末期医療を含めた理解を深めてもらう取り組みを行う必要がある。

# 北九州市医療・介護ひまわりネットワーク推進事業について

## ①在宅医療と介護の連携体制の構築

**【ICTを利用した多職種による情報共有の仕組みづくり】** … 全ての区医師会

○多職種協働による在宅医療の支援体制を構築するためクラウド上で情報を共有するモデル事業を実施。

## ②病院と在宅医療提供機関との連携体制の構築

**【在宅同行訪問研修】** … 門司区医師会、小倉医師会、八幡医師会、若松区医師会

○病院の医師・看護師が主治医や訪問看護ステーションと同行訪問を行い、急変時の対応に備えた連携体制を構築。

**【レスパイト受け入れ窓口等の設置】** … 戸畑区医師会

○レスパイト受け入れ体制の統括窓口や相談窓口をモデル的に設置。

## ③在宅医療関係者の人材育成、市民への普及啓発等

**【小児患者事例検討会】** … 八幡医師会、戸畑区医師会

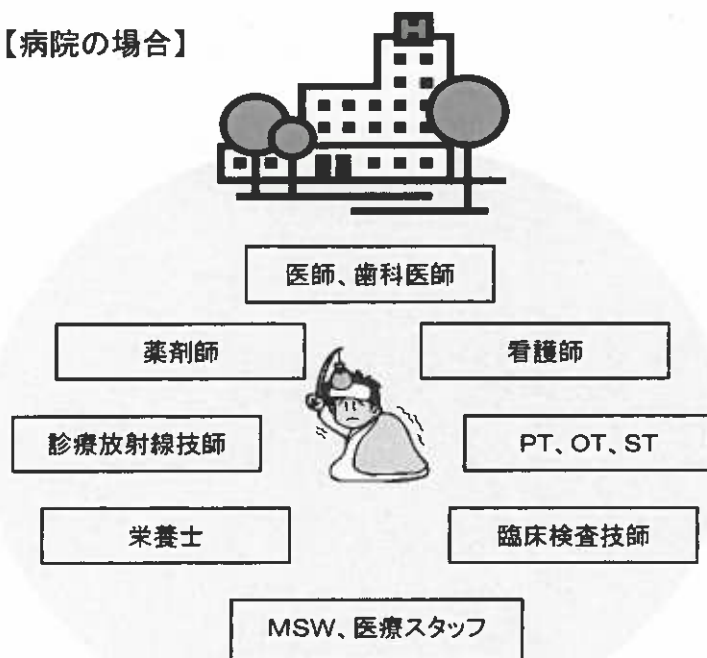
○医療依存度の高い小児の在宅医療・家族支援に対する情報集積・提供、専門的技術支援等を学ぶ事例検討会を実施。

**【普及啓発講演会の実施】** … 八幡医師会

## ICTを利用した多職種連携のための情報共有の仕組みづくり

- 多職種協働による在宅医療の支援体制を構築し、医療と介護が連携した、地域における包括的かつ継続的な在宅医療・地域包括ケアの提供を目指すため、クラウド上で患者情報を共有するカナミックネットワークシステムとタブレット端末等を活用したモデル事業を実施中。
- 情報共有の参加者には、患者の医療・介護サービス提供状況を踏まえ、薬局、訪問看護、訪問リハ、通所介護、居宅介護支援事業所等が加わる。さらに、急変時の円滑な対応や、患者本人・患者家族の安心につなげるため、希望があれば、情報共有の参加者に患者・家族を加えることも可能。

【病院の場合】



【在宅医療の場合】



# 情報共有システムの概要

## 医療・看護・介護連携機能

**TRITRUS**  
ダイヤクリニックの杉崎 博さん お疲れ様です

コミュニティ

患者 太郎さんの部屋

参加コミュニティ一覧へ

患者 太郎さんの部屋

ここに患者さんの状態を書いておくことでわかりやすく共有できる。  
(最大500文字まで)  
これが表示されるところが、背景色または文字色が変わります。

利用者情報を  
呼びつける

フェイスシート  
新規作成

サービス  
カレンダー

家族情報  
[コミュニティの設定変更]

この部屋の管理者

ダイヤクリニック  
杉崎 博

クローバー内科診療所  
坂間 誠士

→管理者の追加・削除

コミュニティ参加者

ダイヤクリニック  
杉崎 博

クローバー内科診療所  
坂間 誠士

患者ごとの定型化された連携情報

- ・フェイスシート(基本情報)
- ・カレンダー(関係者の訪問スケジュールを確認できる)
- ・薬剤情報共有

日々の変化を共有するケアレポート

- ・患者情報シート
- ・連絡帳
- ・ケアプラン
- ・訪問看護指示書
- ・診療情報提供書  
等

タイトル	コメント数(未読)	最新コメント	最終更新日
訪問看護指示書	0(未0)		2012/05/15
患者情報シート用	1(未0)	ダイヤクリニックの杉崎です。患...	2012/05/15
ケアプラン用	0(未0)		2012/05/22 09:39
連絡帳	5(未0)	了解しました。以前に「麻薬」とい...	2012/04/22 16:23
医師連携用	0(未0)	ダイヤクリニックの杉崎です。	2012/04/15 10:23

新規ケアレポートの作成 ?

ページの先頭へ戻る

患者ごとに  
部屋を作成

患者を担当して  
いる関係者のみ  
が部屋に入れる

部屋に入る権限を  
持った関係者が一  
覧で表示される

【出所】株式会社カナミックネットワーク

# フェイスシート機能

## 基本情報

- 利用者情報
- 住宅情報
- 家族情報
- 介護サービス利用状況
- 医療情報
- 身体・生活機能等
- ADL評価[FIM-機能的自立度評価表-]
- 備考

フェイスシート

編集履歴

---

利用者情報

最終変更日時	2012/02/26 13:06
最終編集者	山本祐典

共有者

---

氏名	マイコ イチ 介護イチ
性別	女
住所	〒141-0031 東京都品川区西五反田8-1-14
生年月日	昭和07年07月02日(満 85歳)
電話番号	03-1000-1000
携帯番号	
生活保護	無し
障害者認定	無し
要介護認定区分	要介護1
認定有効期間開始～ 認定有効期間終了	平成24年01月01日～平成24年12月31日
障害高齢者日常生活自立度(寂まり度)	A1
認知症高齢者日常生活自立度	Ⅱa



家族情報

各項目へ移動

最終変更日時	2012/05/16 12:18
最終編集者	東京大学管理室

共有者一覧 編集する

---

家族構成図

身体・生活機能等

各項目へ移動

最終変更日時: 2012/02/26 13:06  
最終編集者: 山本祐典

共有者一覧 編集する

---

歩行の状況	無し	歩行	中絶	歩行
歩行の頻度	無し	歩行		
歩行の距離	歩行が 認められる	1日の歩 行の頻度 がわかる	歩行 がわかる	歩行 がわかる
歩行の速度	無し	歩行		
歩行の持続性	日常生活 に支障なし	日常生活 に支障あり	歩行 がわかる	歩行 がわかる
歩行の安定性	無し	歩行		

標準化できる情報の共有  
患者の基本情報や家族、日常生活動作、  
既往歴、看取りに関する意向などの  
情報を共有する

## 情報共有システムの運用状況について

### 経緯

- 平成25年6月:システム管理者向け全体説明会の開催
- 平成25年7月:各区医師会にてタブレット端末及び情報共有システム基本操作研修会開催  
患者選定(患者・家族、参加事業所への説明、同意)
- 平成25年8月:運用開始

### 対象患者

- 医療依存度の高い小児患者、難病患者等 18名

### 参加事業所及び職種

- 参加事業所(25事業所)
  - 病院、診療所、薬局、訪問看護ステーション
  - 介護事業所(居宅介護支援、訪問介護、訪問リハ、訪問入浴、通所リハ、通所介護など)
  - 特別支援学校
- 参加者(209名)
  - 医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
  - ケアマネジャー、介護福祉士、社会福祉士、教員など

### その他

- 事業の成果等については、在宅医療シンポジウム(12月12日開催予定)で報告予定